

食育事業取組報告書(東豊小学校)

食育活動区分	(該当するものを口で囲む) 育てる 作る 食べる ・ 返す	実施年月日	令和5年 5月～12月
教科名	総合的な学習の時間	指導者	1:教諭 2:栄養士 3:アスパラガス栽培指導者 JA北越後 4:地域ボランティア6名
単元名	わたしたちのしばた もっと調べ隊!		
ねらい	新発田市の特産品であるアスパラガスを実際に栽培・調理・試食したり、その栽培や普及に携わっている方々の思いや願いにふれたりすることを通して、アスパラガスの魅力や課題、栽培の苦労や工夫、努力等を知り、新発田市産アスパラガスのさらなるイメージアップに向けた活動を考え実行するとともに、これからの新発田市への思いや願いをもち、生活していくことができるようにする。		
児童・生徒の活動		支援・指導上の留意点	
<p>◆町探検や調査活動等を通して、新発田市にはアスパラガスという特産品があることを知る。</p> <p>◆アスパラガスにかかわる方々と出会い、講話や調査活動から、アスパラガスの特徴等を知ることを通して、栽培に向けた思いや願いをもつ。</p> <p>◆自分たちで植えたアスパラガスの様子を日々観察したり、生長できるような環境を整備したりすることを通して、栽培の難しさを知る。</p> <p>◆ゲストティーチャー(以下、GT。)からアドバイスを受けることを通して、アスパラガスのよりよい生長や収穫、その後の調理方法についての見通しをもつ。</p> <p>◆収穫したアスパラガスを、GTや地域ボランティアの方々の力を借りながら、自分たちの手で調理し、試食することを通して、その魅力やこれまでの苦労、サポートして下さった周囲の方々の存在を知る。</p> <p>◆GTの講話から、新発田市産アスパラガスの現状や課題を知ることを通して、アスパラガスのイメージアップに向けた取組を考える。</p> <p>◆GTからの助言やこれまでの体験活動、収集した情報等を整理し、アスパラガスのイメージアップに向け、様々なレシピを考え、実際に家庭で調理し、発信する。</p> <p>◆これまでの活動をふり返り、作文にまとめる。</p>		<p>・社会科の学習と関連させ、校区内の町探検から、新発田市産アスパラガスと出合わせ、興味・関心をもたせる。</p> <p>・2年前から校内でアスパラガスを栽培していることを知ることができるようにするとともに、栽培に向けた意欲をもたせたり、GTと出合わせたりする。</p> <p>・日々の栽培活動に取り組む中で湧き出した児童の問題意識を、学年全体で共有するとともに、GTなどからの協力を仰ぐ。</p> <p>・栄養士や地域ボランティアから、アスパラガスを使った料理について学び、実際に調理させる。</p> <p>・これまでの活動を踏まえ、家庭と連携した食育事業の推進を図る。</p>	
成果と課題	<p>【成果】 実際にアスパラガスを栽培・収穫・調理する体験活動を進めることによって、児童はアスパラガスのおいしさや魅力だけでなく、その裏にある、栽培している方々の苦労を実感することができた。それによって、児童はそういった方々への感謝や憧れをもつとともに、学習材の奥にある「ひと」の温かさや魅力をも実感できたといえる。</p> <p>【課題】 新発田市産アスパラガスの現状や課題について、より深く知ったうえで、地域や家庭に働き掛けていく必要がある。</p>		
家庭・地域連携	<p>【家庭】 児童の学習活動を、定期的に学年・学級だより等で伝えるとともに、アスパラガスを使ったレシピ開発への協力を促した。</p> <p>【地域】 栽培や調理の際、地域コーディネーターと連携してボランティアを募り、児童の学習活動(調理実習等)に参加していただいた。</p>		

